



石積っ子

教育目標 **さいごまでやりぬく子 からだをきたえる子 もとめて学び子 とを大切に**

坂本小だより 令和6年1月号

児童数591名(24クラス)

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

【校長 上畠 憲一】

『あけまして おめでとうございます』

～今年の干支は甲辰 「竜に翼をよえる年に」～



今年の干支は甲辰。辰といえば、十二支の中で唯一伝説の生き物だけに何ともいえないロマンを感じます。「昇竜」や「竜顔」「雲龍」など、強く縁起の良さを感じる言葉もたくさんあり、辰年は活力が旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれているのもよく分かります。

そんな年にあやかって、もともと強い竜に翼を与えると、さらにその力を増大させるように、素晴らしい地域、保護者、子ども達、そして職員集団を持つ坂本小が、さらにその力を増すような年になりますように皆で力を合わせたいと思います。

そのためには、現状に満足することなく今の坂本小に足りない翼を見つけて与えなければなりません。150才を迎える坂本小に「画竜点睛」を怠ることなく年度を締めくくり、「竜頭蛇尾」に終わらぬよう計画的な1年を送れるよう心がけたいと思っています。何とぞ変わらぬご支援ご協力をいただきますようお願いして新年のご挨拶に代えさせていただきます。



3学期、そして新年のスタートでもあるこの大きな節目の日の始業式で、子ども達には皆が目標に向かって努力できる日々を過ごし、決意新たに行動し、自分自身を豊かに高め、より良い集団を目指していけますようにとの思いを込めて以下の話をしました。

『甲辰の年の節目に自分の目標を伝え合おう』

今年の干支は甲辰。唯一の伝説の生き物である竜のロマンに負けないように、自分の向かうべき方向は合っているのかを確認して夢や目標を持って毎日を過ごしてほしい。そのためにも、自分に必要な目標を教室で伝え合ってください。

『150才の誕生日を迎える坂小』

3月に150才を迎える坂本小にとって大きな節目の年、みんなでお祝いして、これまで以上に坂本小を、そして坂本の町を好きになってほしい。3学期は「自分大好き 友だち大好き さかもと大好き」の仕上げの学期。

『毎日欠かさず本を読もう』

いつも言い続けているように、本を読んで様々なよい影響を受けながら、人生をかしこく豊かに送ってほしい。そのために毎日の習慣に読書を位置付けてほしい。

『卒業していく6年生の姿からよき伝統をつないでいこう』

残り3か月。6年生は後輩に素晴らしい背中を見せてほしい。在校生はより良い学校を目指す準備をしてほしい。

能登半島地震に思う

多くの人たちが、新年の始まりを大切な人と共に慶び今年の抱負などを語りながら賑やかに過ごしていたであろう元日の夕刻に突然発生した地震。このタイミングで起こるのかという何ともやりきれない思いが頭をよぎりました。情報はあまり伝わってきませんでしたが、阪神淡路大震災の時のように状況が明らかになるには時間がかかるだろう。そして、明らかになるにつれ、この地震も甚大な被害をもたらすのではないかと思いました。そして残念ながらその通り、日に日に伝わる状況は深刻な内容でした。この時点でも懸命な救出作業、復旧作業とともに、支援物資の運搬等も懸命に行われています。亡くなられた多くの方々に対するご冥福と一日も早い復旧を祈るばかりです。

それでも震災は必ず起こります。なぜこのタイミングで?と憤りを感じても何ともなりません。わたしたちが生きている間に再び同じような思いをすることがあるでしょう。再三警告されているように、かなりの確率で東南海地震も起こるでしょう。我々ができること、そしてすべきことは普段から備えておくことです。自分や大切な人を守るために、どんなことができるか教室でも考えました。是非、ご家庭でも話題にしてください。

【お知らせ】 令和5年度卒業式について（現時点の予定です）

〈参加者について〉

- ①卒業生、在校生、卒業生の保護者、来賓、教職員で行います。
- ②在校生の参加については、会場の関係もあり5年生、4年生とします（3年生以下は家庭学習）。
- ③来賓の招待については、市議会議員、学校運営協議会メンバー、PTA会長、近隣校園長、教育委員会を予定しています。

〈実施形式等について〉

- ①できる限りコロナ禍の制約を解いた形式に近づけます。
- ②式の練習、予行等は、必要最小限とします。
- ③式歌等の斉唱やよびかけも通常通り（授業での扱い通り）行います。卒業生はひな壇（音楽会時に使用したもの）に上がりますので、当日の服装等について配慮ください。
- ④式後、保護者の教室参観も実施します。その後、子ども達と一緒に並んで退場します。
- ⑤今後の状況によって感染対策を講じる等、変更することもあります。その際はご了承願います。

＜1月2月の主な学校行事 1/9 現在＞

今後変更になることもありますので各学年の通信等でお確かめください。



12月はこんなことがありました

〈発表する場〉 特技を発表する場として、「坂リンピック」や「文化発表会」が



開催されました。坂リンピックでは、参加標準記録を突破した縄跳びの達人達が自慢の種目にエントリーして日頃のがんばりを発表しました。また、文化発表会では、ダンスやピアノなど、一芸に秀でた姿を発表しました。

たくさんの応援団が見守る中、緊張の面持ちで挑む経験は、きっとこれから困難に立ち向かい乗り越える上で役立つでしょう。また、チャレンジした子ども達にとってよい経験になったことはもちろん、応援に駆けつけてくれたお友だちにとっても、大変よい刺激になりました。きっとみんなが目標とする姿だったと思います。

また、各学年学級で学習の発表も行われました。中には、ひと学年下の子ども達を招待して学びを伝えた学年もありました。誰かに伝える学習は自分の学びをより確かにします。あらためて、学んだことを生きた学習として

いろんな場面に生かせるようどんどんアウトプットしてほしいと思いました。また、招待された子ども達にとっても来年度に向けたイメージを持てる機会となり、目標にもなったことでしょう。

〈交流する場〉 地域の畳屋さんのご厚意で「ふれあいルーム」がリニューアルを果たしました。コロナ禍で途絶えていた「ふれあいルーム」を復活し 地域の方々と子ども達のふれあいを一層進めたいと思っていたので、真新しい畳で部屋が整うことは、願ってもないことでした。

子ども達は「何か部屋のにおいが違う」「何の香りやろう?」と、普段かいだことのない真新しい畳の香りを楽しんでおりました（畳のないお家が増えたのでしょうか?）。

3学期には、一層ふれあいルームでの活動が充実し、地域や保護者の方々とのふれあいが進み、子ども達の笑顔がみられることを楽しみにしています。

